

地域おこし

NO. 9 (平成29年7月)

山口県岩国市地域おこし協力隊

玖西地域担当 (主に周東町川越地区を担当)

堤 耕作

080-1724-7139 (携帯) 0827-86-0116 (公民館)

協力隊通信

7月に入り、梅雨も後半に入りました。梅雨の後半には毎年大雨が降りやすく、各地で被害が出ます。今年も、島根や福岡、大分などで大きな被害が出ました。被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。

5・6年前のことでしたか、その時も九州北部で豪雨がありました。ぼくの住んでいた福岡県宗像市でも雨が降り続け、翌朝田んぼに行くと畔は崩れ、飼っていたアイガモは溺れて死に、電気牧柵の機械は流されていて、一瞬呆然としました。でもすぐに近所の人たちが協力してくれて畔を直すことができました。その時に思ったのは、人とのつながりの大切さや人の強さです。人というのはいざという時本当の力を発揮するのかもしれない。川越にはそういう、いざという時の力はあると思います。ただ、人とのつながりは常々努力して築いていかないとだんだん希薄になっていくものだから、そのためにも地域の行事や作業などを大事にしていけないといけないのだなあと思いました。

三瀬川夏まつり

今年も三瀬川の夏まつりが盛大に開催されました！

7月15日の夕方、四基の山車を軽トラに載せ電飾を点け、日が暮れてから集会所を出発。法事峠から松尾口まで太鼓と笛の音色をたよりにゆっくりと練り歩きました。最後に河内神社でお祓いを受け、集会所に帰ってきました。集会所では加工所で丹精込めて作られたおいしい料理とおいしいお酒をみんなでいただき、楽しい時間を過ごしました。

町のまつりと違い出店などなく表に出て山車を見る人も多くはありませんが、それでも三瀬川みんなが集まってまつりを成功させたことは、多くの人に感動を与えたのではないかと思います。それもこれも毎月必ず村おこし会を開き、顔を合わせて話ができる場を作ってこられたからだと思います。ずっと続けていくのは大変なことだと思いますが、できる限りがんばっていただきたい、ぼくも微力ながら協力していきたいと思っています。



ササユリ花見会開催！！

6月14日、ササユリ花見会が開催されました。川越のササユリはどこから持ってきて植えたものではなく、自生しているものです。野生のササユリは今日では珍しくなっており、特に川越のものは葉に覆輪という模様がくっきり入っていて貴重なのだそうです。現在では保存会のみなさんが草刈りなどの手入れをしていて、年々増えてきています。

花見会当日は川越地区の特産品の出店もあり、とてもたくさんのお客さんで賑わいました。また、去年に引き続き大阪学院大学の林教授に来ていただき、周北小学校の児童に向けて川越のササユリの特徴などを話していただきました。

今回これだけ多くの方がササユリを見に来られて、こういう自然のものに関心のある人が多いということを実感しました。川越の自然は川越の人にとって大事なものですが、他の地区の人々にとっても大事なものであるので、適切に手を入れて末永く残していかなければいけないと思いました。



ひよじ体験農園

6月24日、檜余地「高原の市」前にて恒例のひよじ体験農園が開かれました。

檜余地名物のコンニャクやたくわん、季節の野菜や花の苗、木工品、ヤマメの塩焼きなどの販売のほか、ホカホカのゆでじゃがいもやイノシシ肉の鉄板焼きなどが振る舞われました。お客さんはそれほど多くなかったですが、檜余地出身者や有縁の方が集まり、おいしいものを頬張りながら話に花を咲かせていました。



○5月30日 高塔山 山頂整備 山頂からの見晴らしがよくなりました

○6月29日 三瀬川いきいきサロン 三瀬川のみなさんと童謡や体操などをしました

○7月1日 檜余地泥おとし映画会 「運がよけりゃ」という古い映画を楽しみました

後記

通信を書き始めた時は梅雨でしたが、今は夏真っ盛りです。外で作業すると汗が滝のように流れてきます。ぼくもみなさんも熱中症には充分お気を付け下さい。